

# お詫びと訂正

このたびは、日立アドバンスサーバ HA8000/RS210-h[2013年9月～モデル](以下 システム装置)をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

『ユーザーズガイド』に訂正箇所があります。謹んでお詫び申し上げます。

また、「ロングライフモデルⅡ」のサポートについて本書の巻末に記載しております。対象の製品をご使用になる場合、ご参照いただきますようお願い申し上げます。

## ■ユーザーズガイド ～導入編～

- ・「2 システム装置の基礎知識」「2.2 システム装置各部の名称と機能」「2.2.2 操作パネル」「I FUNCTION スイッチ」(P.20)

### 次の内容に変更

**FUNCTION スイッチと SERVICE ランプスイッチを同時に押すと NMI が発行されます。  
メモリダンプ取得時など NMI を意図的に発行する場合のみ押してください。**

・・・  
補足

マネジメントインタフェースが LAN に接続されていない状態で FUNCTION スイッチを 10 秒以上押し続けると、マネジメントインタフェース設定が保守モードに設定され、ERROR ランプが点滅します。この場合、FUNCTION スイッチをボールペンなどで 10 秒以上押し続け、保守モードを解除してください。

- ・「2 システム装置の基礎知識」「2.2 システム装置各部の名称と機能」「2.2.3 背面」「J NMI スイッチ」(P.23)

### 次の内容に変更

**使用しません。スイッチは押さないでください。  
NMI を発行する場合は、FUNCTION スイッチと SERVICE ランプスイッチを同時に押してください。**

## ■ユーザーズガイド ～運用編～

- ・「4 運用上の注意事項」「4.2 LAN コントローラ機能の注意事項」「4.2.1 TCP Checksum Offload 機能について」(P.57)

### 誤

・・・

なお、LAN 拡張カード (CN7M1S/CN7M1T) および LAN ボード (CN7821/CN7822/CN7823/CN7824/CN7841/CN7842) の場合は、LAN ドライバのパラメータをデフォルトの設定値から変更しないでください。ネットワーク性能に影響を与える場合があります。

・・・

### 正

・・・

なお、LAN 拡張カード (CN7M1S/CN7M1T) および LAN ボード (CN7821/CN7822/CN7823/CN7824/CN7841/CN7842/**CN7843/CN7844**) の場合は、LAN ドライバのパラメータをデフォルトの設定値から変更しないでください。ネットワーク性能に影響を与える場合があります。

・・・

- ・「4 運用上の注意事項」「4.2 LAN コントローラ機能の注意事項」「4.2.1 TCP Checksum Offload 機能について」「(1) 各 OS における設定方法について」「◆Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012 の場合」(P.57)
- ・「4 運用上の注意事項」「4.2 LAN コントローラ機能の注意事項」「4.2.1 TCP Checksum Offload 機能について」「(1) 各 OS における設定方法について」「◆Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2008 の場合」(P.58)

| 誤  | 正  |
|--|--|
| <p>(手順 3 表内の次の設定項目と設定値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TCP/UDP Checksum Offload(Ipv4) : Rx &amp; Tx Enabled→None</li> <li>・ TCP/UDP Checksum Offload(Ipv6) : Rx &amp; Tx Enabled→None</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TCP/UDP Checksum Offload(Ipv4) : Rx &amp; Tx Enabled→<b>Disabled</b></li> <li>・ TCP/UDP Checksum Offload(Ipv6) : Rx &amp; Tx Enabled→<b>Disabled</b></li> </ul> |

- ・「4 運用上の注意事項」「4.2 LAN コントローラ機能の注意事項」「4.2.3 Linux 環境の設定について」「制限事項 1」(P.59)
- ・「4 運用上の注意事項」「4.2 LAN コントローラ機能の注意事項」「4.2.3 Linux 環境の設定について」「制限事項 2」(P.60)
- ・「4 運用上の注意事項」「4.2 LAN コントローラ機能の注意事項」「4.2.3 Linux 環境の設定について」「制限事項 3」(P.61)

| 誤  | 正  |
|--|--|
| <p>■ 対象 LAN デバイス</p> <p>LAN 拡張カード (10GBASE-SR,2port) : CN7M1S</p> <p>LAN 拡張カード (10GBASE-T,2port) : CN7M1T</p> <p>LAN ボード (10GBASE-SR,2port) : CN7821/CN7822/CN7841/CN7842</p> <p>LAN ボード (10GBASE-T,2port) : CN7823/CN7824</p> | <p>■ 対象 LAN デバイス</p> <p>LAN 拡張カード (10GBASE-SR,2port) : CN7M1S</p> <p>LAN 拡張カード (10GBASE-T,2port) : CN7M1T</p> <p>LAN ボード (10GBASE-SR,2port) : CN7821/CN7822/CN7841/CN7842</p> <p><b>LAN ボード (10G SFP+ Direct Attach 接続,2port) : CN7843/CN7844</b></p> <p>LAN ボード (10GBASE-T,2port) : CN7823/CN7824</p> |

- ・「4 運用上の注意事項」「4.2 LAN コントローラ機能の注意事項」「4.2.4 Virtual Machine Queues について」(P.61)

| 誤   |
|---|
| <h2>4.2.4 Virtual Machine Queues について</h2> <p>Hyper-V の仮想ネットワークに、"Broadcom NetXtreme Gigabit Ethernet #x" (#x は表示されないもしくは任意の数字) と表示されている物理ネットワークを割り当てる場合、次の設定を実施し Virtual Machine Queues を無効にしてください。</p> <p>...</p> |

(次ページにつづく)

## 4.2.4 Virtual Machine Queues について

**Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012 の場合**、Hyper-V の仮想ネットワークに、"Broadcom NetXtreme Gigabit Ethernet #x" (#x は表示されないもしくは任意の数字) と表示されている物理ネットワークを割り当てる場合、次の設定を実施し Virtual Machine Queues を無効にしてください。

...

- ・ 「4 運用上の注意事項」 「4.3 システムクロックに関する注意事項」 「4.3.1 UTC 設定の注意事項について」 「(2) VMware の場合」 (P.63)

### 次の内容に変更

VMware vSphere ESXi 5.5 / VMware vSphere ESXi 5.1 / VMware vSphere ESXi 5.0 がサポートするタイムゾーンは、UTC (協定世界時) のみです。このため、ESXi をインストールするシステム装置 (ESXi ホスト) は、システム BIOS の時刻を UTC に設定する必要があります。

システム装置出荷時は、システム BIOS の時刻を JST (Japan Standard Time : 日本標準時) に設定しています。インストール時にシステム BIOS の時刻を UTC に設定しなかった場合、vSphere クライアントで表示される ESXi ホストの時刻が JST より 9 時間進みます。vSphere クライアントから時刻を JST に設定してください。システム BIOS に設定が反映され、システム BIOS の時刻は UTC (JST から 9 時間遅れた時刻) となります。

...

補足

- UTC は、JST (Japan Standard Time : 日本標準時) から 9 時間遅れた時間です。
- vSphere クライアントは、vSphere クライアントを起動している PC のタイムゾーンを認識し、ESXi ホストのシステム BIOS から得た UTC を元に時刻を補正して現地時間 (ローカルタイム) を表示します。  
たとえば、UTC が "9:00" で、vSphere クライアントを起動している OS のタイムゾーンが日本時間 (UTC+9 時間) の場合、vSphere クライアントの時刻表示は "18:00" となります。
- VMware 代行インストールモデルは、出荷時にシステム BIOS の時刻を UTC に設定しています。

なお、VMware vSphere ESXi 5.5 / VMware vSphere ESXi 5.1 / VMware vSphere ESXi 5.0 の運用時、システム BIOS の時刻が JST ではなく UTC となるため、次のイベントの発生日時も UTC で表示されます。運用時に注意してください。

- SVP ログのイベント
- JP1/ServerConductor の SVP 直接通知アラート
- 「Hitachi Compute Systems Manager」に通知されるアラート
- Web コンソール上で表示または取得されるログ (システムイベントログなど)
- SNMP 通報 (送信時刻)

また、Web コンソール上の設定で BMC の時刻を NTP サーバと同期する場合、NTP 時刻は UTC で運用してください。

## ■ ユーザーズガイド ～オプションデバイス編～

- ・ 「5 拡張ボードを取り付ける」「5.1 拡張ボードについて」「5.1.1 拡張ボードの種類」(P.40,P.41)

| 誤   |                   |               |                 |
|---|-------------------|---------------|-----------------|
| 品名  | 形名                | バス幅           | 動作電圧            |
| ...   |                   |               |                 |
| LAN ボード*4   | CN7842            | x8            | 3.3V            |
| LAN ボード*4   | CN7823            | x8            | 3.3V            |
| ...   |                   |               |                 |
| PCIe Flash ドライブボード  | CG7365FD2         | x4            | 3.3V            |
| PCIe Flash ドライブボード  | CG7785FD2         | x4            | 3.3V            |
| PCIe Flash ドライブボード  | CG71200FD2        | x4            | 3.3V            |
| ...   |                   |               |                 |
| <p>*4 SR-IOV (Single Root I/O Virtualization) 機能をサポートします。動作条件は次のとおりです。</p> <p>ホストOS : Windows Server 2012 R2</p> <p>ゲストOS : Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012</p> <p>詳細については『ユーザーズガイド』CD-ROMに格納されるそれぞれのLANボードの取扱説明書をご参照ください。</p> <p>なお、ゲストOS 上のSR-IOVの仮想ポートにおいて、「NICチーム機能」は2014年1月現在サポートしておりません。</p> <p>...</p>  |                   |               |                 |
| 正   |                   |               |                 |
| 品名  | 形名                | バス幅           | 動作電圧            |
| ...   |                   |               |                 |
| LAN ボード*4   | CN7842            | x8            | 3.3V            |
| <del>LAN ボード *4</del>   | <del>CN7843</del> | <del>x8</del> | <del>3.3V</del> |
| <del>LAN ボード *4</del>   | <del>CN7844</del> | <del>x8</del> | <del>3.3V</del> |
| LAN ボード*4   | CN7823            | x8            | 3.3V            |
| ...   |                   |               |                 |
| PCIe Flash ドライブボード *13  | CG7365FD2         | x4            | 3.3V            |
| PCIe Flash ドライブボード *13  | CG7785FD2         | x4            | 3.3V            |
| PCIe Flash ドライブボード *13  | CG71200FD2        | x4            | 3.3V            |
| ...   |                   |               |                 |
| <p>*4 SR-IOV (Single Root I/O Virtualization) 機能をサポートします。動作条件は次のとおりです。</p> <p>ホストOS : Windows Server 2012 R2</p> <p>ゲストOS : Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012</p> <p>詳細については『ユーザーズガイド』CD-ROMに格納されるそれぞれのLANボードの取扱説明書をご参照ください。</p> <p>なお、ゲストOS上のSR-IOVの仮想ポートにおいて、「NICチーム機能」は2014年1月現在サポートしておりません。</p> <p>...</p> <p><del>*13 Windows Server 2008 / RHEL6.4 (32-bit x86) 環境はサポートしていません。</del></p> |                   |               |                 |

- ・「5 拡張ボードを取り付ける」「5.1 拡張ボードについて」「5.1.2 取り付け位置」「(2) 拡張ボード搭載ルール」  
「◆RS210-h HM2 モデル」(P.43)

| 誤                  |                   |                     |              |              |                |
|--------------------|-------------------|---------------------|--------------|--------------|----------------|
| 品名                 | 形名                | LAN 拡張カード専用<br>スロット | 拡張スロット       |              | 最大<br>搭載数      |
|                    |                   |                     | 1            | 2            |                |
| ...                |                   |                     |              |              |                |
| LAN ボード            | CN7842            | ×                   | ×            | ①            | 1 枚            |
| LAN ボード            | CN7823            | ×                   | ①            | ×            | 1 枚            |
| ...                |                   |                     |              |              |                |
| ...                |                   |                     |              |              |                |
| 正                  |                   |                     |              |              |                |
| 品名                 | 形名                | LAN 拡張カード専用<br>スロット | 拡張スロット       |              | 最大<br>搭載数      |
|                    |                   |                     | 1            | 2            |                |
| ...                |                   |                     |              |              |                |
| LAN ボード            | CN7842            | ×                   | ×            | ①            | 1 枚            |
| <del>LAN ボード</del> | <del>CN7843</del> | ×                   | <del>①</del> | <del>×</del> | <del>1 枚</del> |
| <del>LAN ボード</del> | <del>CN7844</del> | ×                   | <del>×</del> | <del>①</del> | <del>1 枚</del> |
| LAN ボード            | CN7823            | ×                   | ①            | ×            | 1 枚            |
| ...                |                   |                     |              |              |                |
| ...                |                   |                     |              |              |                |

- ・「5 拡張ボードを取り付ける」「5.1 拡張ボードについて」「5.1.2 取り付け位置」「(2) 拡張ボード搭載ルール」  
「◆RS210-h HM2 モデル (キャッシュバックアップ付)」(P.44)

| 誤                  |                   |                     |              |              |                |
|--------------------|-------------------|---------------------|--------------|--------------|----------------|
| 品名                 | 形名                | LAN 拡張カード専用<br>スロット | 拡張スロット       |              | 最大<br>搭載数      |
|                    |                   |                     | 1            | 2            |                |
| ...                |                   |                     |              |              |                |
| LAN ボード            | CN7842            | ×                   | ×            | ①            | 1 枚            |
| LAN ボード            | CN7824            | ×                   | ×            | ①            | 1 枚            |
| ...                |                   |                     |              |              |                |
| ...                |                   |                     |              |              |                |
| 正                  |                   |                     |              |              |                |
| 品名                 | 形名                | LAN 拡張カード専用<br>スロット | 拡張スロット       |              | 最大<br>搭載数      |
|                    |                   |                     | 1            | 2            |                |
| ...                |                   |                     |              |              |                |
| LAN ボード            | CN7842            | ×                   | ×            | ①            | 1 枚            |
| <del>LAN ボード</del> | <del>CN7844</del> | ×                   | <del>×</del> | <del>①</del> | <del>1 枚</del> |
| LAN ボード            | CN7824            | ×                   | ×            | ①            | 1 枚            |
| ...                |                   |                     |              |              |                |
| ...                |                   |                     |              |              |                |

- ・「5 拡張ボードを取り付ける」「5.1 拡張ボードについて」「5.1.2 取り付け位置」「(2) 拡張ボード搭載ルール」  
「◆RS210-h LM2 モデル」(P.46)

| 誤              |               |                     |          |          |            |
|----------------|---------------|---------------------|----------|----------|------------|
| 品名             | 形名            | LAN 拡張カード専用<br>スロット | 拡張スロット   |          | 最大<br>搭載数  |
|                |               |                     | 1        | 2        |            |
| ...            |               |                     |          |          |            |
| LAN ボード        | CN7842        | ×                   | ×        | ①        | 1 枚        |
| LAN ボード        | CN7823        | ×                   | ①        | ×        | 1 枚        |
| ...            |               |                     |          |          |            |
| ...            |               |                     |          |          |            |
| 正              |               |                     |          |          |            |
| 品名             | 形名            | LAN 拡張カード専用<br>スロット | 拡張スロット   |          | 最大<br>搭載数  |
|                |               |                     | 1        | 2        |            |
| ...            |               |                     |          |          |            |
| LAN ボード        | CN7842        | ×                   | ×        | ①        | 1 枚        |
| <u>LAN ボード</u> | <u>CN7843</u> | ×                   | <u>①</u> | <u>×</u> | <u>1 枚</u> |
| <u>LAN ボード</u> | <u>CN7844</u> | ×                   | <u>×</u> | <u>①</u> | <u>1 枚</u> |
| LAN ボード        | CN7823        | ×                   | ①        | ×        | 1 枚        |
| ...            |               |                     |          |          |            |
| ...            |               |                     |          |          |            |

## ■ユーザズガイド ～BIOS 編～

- ・「1 システム BIOS」「1.2 セットアップメニューの設定項目」「1.2.4 Chipset:チップセットメニュー」「(1) North Bridge:North Bridge 設定サブメニュー」「IOH Configuration:IOH 設定サブメニュー」(P.31)

| 誤  |  |                           |               |  |  |
|--|--|---------------------------|---------------|--|--|
| (画面イラスト中) (BIOS バージョン「MA.1.03.00」以降のみ訂正)   |  |                           |               |  |  |
| D  |  | MMIOH Size                | [64G]         |  |  |
| E  |  | CPU PCI Express L1        | [Enabled]     |  |  |
| 正  |  |                           |               |  |  |
| D  |  | MMIOH Size                | [64G]         |  |  |
| E  |  | CPU PCI Express L1        | [Enabled]     |  |  |
| <u>F</u>   |  | <u>RAID Link Speed *1</u> | <u>[Auto]</u> |  |  |
| <u>G</u>   |  | <u>PCI Link Speed *2</u>  | <u>[Auto]</u> |  |  |
| <u>*1 BIOSバージョン「MA.1.05.00」以降の場合に表示されます。</u><br><u>*2 BIOSバージョン「MA.1.03.00」以降の場合に表示されます。</u> |  |                           |               |  |  |

- ・ 「1 システム BIOS」「1.2 セットアップメニューの設定項目」「1.2.4 Chipset:チップセットメニュー」「(1) North Bridge:North Bridge 設定サブメニュー」「IOH Configuration:IOH 設定サブメニュー」(P.31)

| <b>誤</b>   | (BIOS バージョン「MA.1.03.00」以降のみ訂正) |                             |   |
|--|--------------------------------|-----------------------------|---|
|  | 設定項目                           | 設定内容                        | 設定値／表示                                  |
|  | ．．．                            |                             |   |
|  | D MMIOH Size                   | 4GB 以上のメモリアドレスへのマッピングサイズを設定 | 1G／2G／4G／8G／16G／32G／ <b>【64G】</b> ／128G |
|  | E CPU PCI Express L1           | プロセッサによる省電力機能（L1）の有効        | 【Disabled（無効）】／ <b>【Enabled（有効）】</b>    |
|  |                                |                             |   |
| <b>正</b>   |                                |                             |   |
|  | 設定項目                           | 設定内容                        | 設定値／表示                                  |
|  | ．．．                            |                             |   |
|  | D MMIOH Size                   | 4GB 以上のメモリアドレスへのマッピングサイズを設定 | 1G／2G／4G／8G／16G／32G／ <b>【64G】</b> ／128G |
|  | E CPU PCI Express L1           | プロセッサによる省電力機能（L1）の有効        | 【Disabled（無効）】／ <b>【Enabled（有効）】</b>    |
|  | <b>F RAID.Link.Speed.*1.*2</b> | <b>RAID スロットのリンク速度の設定</b>   | <b>【Auto】／Gen2／Gen1</b>                 |
|  | <b>G PCI1.Link.Speed.*3</b>    | <b>PCI スロット 1 のリンク速度の設定</b> | <b>【Auto】／【Gen2】／【Gen1】</b>             |
| <p>*1 BIOSバージョン「MA.1.05.00」以降の場合に表示されます。</p> <p>*2 工場出荷時の設定「Auto」を変更しないでください。</p> <p>*3 BIOSバージョン「MA.1.03.00」以降の場合に表示されます。</p> |                                |                             |   |

- ・ 「1 システム BIOS」「1.5 システム装置の設定値」「1.5.2 設定値一覧」(P.54)

| <b>誤</b> | (BIOS バージョン「MA.1.03.00」以降のみ訂正) |         |
|----------|--------------------------------|---------|
|          | 項目                             | 設定値     |
|          | Chipset                        |         |
|          | North Bridge                   |         |
|          | IOH Configuration              |         |
|          | ．．．                            | ．．．     |
|          | MMIOH Size                     | 64G     |
|          | CPU PCI Express L1             | Enabled |
|          | QPI Configuration              | ．．．     |

(次ページにつづく)

(前ページより)

| 正                   |         |
|---------------------|---------|
| 項目                  | 設定値     |
| Chipset             |         |
| North Bridge        |         |
| IOH Configuration   |         |
| ...                 | ...     |
| MMIOH Size          | 64G     |
| CPU PCI Express L1  | Enabled |
| RAID Link Speed *9  | Auto    |
| PCI1 Link Speed *10 | Auto    |
| QPI Configuration   |         |
| ...                 | ...     |

\*9 BIOSバージョン「MA.1.05.00」以降の場合に表示されます。  
 \*10 BIOSバージョン「MA.1.03.00」以降の場合に表示されます。

- ・「2 MegaRAID WebBIOS」「2.3 MegaRAID WebBIOS の設定項目」「2.3.4 Controller Properties: ディスクアレイコントローラ設定メニュー」「(1) Properties: コントローラプロパティサブメニュー1」(P.76、P.77)

誤

| 設定項目                    | 設定内容                  | 設定値／表示                 |
|-------------------------|-----------------------|------------------------|
| N Spinup Drive Count *3 | システム起動時の物理ドライブ起動台数    | 0 ~ 8 / 【1】 / 【4】 *5   |
| O Spinup Delay *3       | システム起動時の物理ドライブ起動タイミング | 0 ~ xxx / 【6】 / 【4】 *6 |

...

\*5 ディスクアレイコントローラ (内蔵用) [標準搭載] は「1」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定してください。

\*6 ディスクアレイコントローラ (内蔵用) [標準搭載] は「6」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定してください。

正

| 設定項目                    | 設定内容                  | 設定値／表示                                 |
|-------------------------|-----------------------|--|
| N Spinup Drive Count *3 | システム起動時の物理ドライブ起動台数    | 0 ~ 8 / <del>【1】</del> / <b>【4】 *5</b> |
| O Spinup Delay *3       | システム起動時の物理ドライブ起動タイミング | 0 ~ xxx / 【6】 / 【4】 / <b>【2】 *6</b>    |

...

\*5 ディスクアレイコントローラ (内蔵用) [標準搭載] は「1」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定してください。

\*6 ディスクアレイコントローラ ボード (内蔵用) [標準搭載] は「6」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用: キャッシュバックアップ付) は「2」に設定してください。

正

| 設定項目 |                       | 設定内容                  | 設定値／表示  |
|------|-----------------------|-----------------------|---|
| N    | Spinup Drive Count *3 | システム起動時の物理ドライブ起動台数    | 0 ~ 8 / <del>【1】</del> / <b>【4】</b> *5                |
| O    | Spinup Delay *3       | システム起動時の物理ドライブ起動タイミング | 0 ~ xxx / <b>【6】</b> / <b>【4】</b> / <del>【2】</del> *6 |

...

\*5 ディスクアレイコントローラ (内蔵用) [標準搭載] は「1」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定してください。

\*6 ディスクアレイコントローラボード (内蔵用) [標準搭載] は「6」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用: キャッシュバックアップ付) は「2」に設定してください。



- ・ 「2 MegaRAID WebBIOS」 「2.3 MegaRAID WebBIOS の設定項目」 「2.3.4 Controller Properties: ディスクアレイコントローラ設定メニュー」 「(1) Properties: コントローラプロパティサブメニュー1」 (P.77)

### 次の補足の内容を削除



■設定値を変更する場合は、・・・

■「Spinup Drive Count」、「Spinup Delay」の設定は固定されているため、設定値を変更しても反映されません。

- ・ 「2 MegaRAID WebBIOS」 「2.8 MegaRAID WebBIOS の設定値」 「2.8.2 設定値一覧」 (P.138、P.139)

### 誤

| 項目                    | 設定値          |
|-----------------------|--------------|
| Controller Properties |              |
| Properties            |              |
| ・・・                   |              |
| Spinup Drive Count    | [1 または 4] *2 |
| Spinup Delay          | [6 または 4] *3 |
| ・・・                   |              |
| ・・・                   |              |

\*1 ・・・

\*2 ディスクアレイコントローラボード（内蔵用）〔標準搭載〕は「1」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定します。

\*3 ディスクアレイコントローラボード（内蔵用）〔標準搭載〕は「6」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定します。

\*4 ・・・

### 正

| 項目                    | 設定値            |
|-----------------------|----------------|
| Controller Properties |                |
| Properties            |                |
| ・・・                   |                |
| Spinup Drive Count    | [1 または 4] *2   |
| Spinup Delay          | [6、4 または 2] *3 |
| ・・・                   |                |
| ・・・                   |                |

\*1 ・・・

\*2 ディスクアレイコントローラボード（内蔵用）〔標準搭載〕は「1」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定します。

\*3 ディスクアレイコントローラボード（内蔵用）〔標準搭載〕は「6」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用：キャッシュバックアップ付）は「2」に設定します。

\*4 ・・・

## ■ ユーザーズガイド ～リモートマネジメント編～

- ・ 「3 リモートマネジメント機能の使用準備」 「3.1 マネジメントインタフェースへの接続」 「3.1.2 システムコンソール端末について」 (P.12)

| 誤        |  |    |      |     |  |          |   |     |  |
|----------|--|----|------|-----|--|----------|---|-----|--|
|          | <table><tr><th>項目</th><th>動作条件</th></tr><tr><td>...</td><td></td></tr><tr><td>OS *2 *3</td><td><ul style="list-style-type: none"><li>• Windows Server 2012 Standard</li><li>• Windows Server 2012 Datacenter</li><li>• ...</li></ul></td></tr><tr><td>...</td><td></td></tr></table>   | 項目 | 動作条件 | ... |  | OS *2 *3 | <ul style="list-style-type: none"><li>• Windows Server 2012 Standard</li><li>• Windows Server 2012 Datacenter</li><li>• ...</li></ul>   | ... |  |
| 項目       | 動作条件   |    |      |     |  |          |   |     |  |
| ...      |  |    |      |     |  |          |   |     |  |
| OS *2 *3 | <ul style="list-style-type: none"><li>• Windows Server 2012 Standard</li><li>• Windows Server 2012 Datacenter</li><li>• ...</li></ul>  |    |      |     |  |          |   |     |  |
| ...      |  |    |      |     |  |          |   |     |  |
| 正        |  |    |      |     |  |          |   |     |  |
|          | <table><tr><th>項目</th><th>動作条件</th></tr><tr><td>...</td><td></td></tr><tr><td>OS *2 *3</td><td><ul style="list-style-type: none"><li>• <del>Windows Server 2012 R2 Standard</del> *5</li><li>• <del>Windows Server 2012 R2 Datacenter</del> *5</li><li>• Windows Server 2012 Standard *5</li><li>• Windows Server 2012 Datacenter *5</li><li>• ...</li></ul></td></tr><tr><td>...</td><td></td></tr></table> <p>*5 <del>Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012をご使用の場合、OS上の「サーバーマネージャー」の「機能」 - 「機能の追加」から「ユーザーインタフェースとインフラストラクチャ」を展開し、「デスクトップエクスペリエンス」を追加インストールしてください。</del></p> | 項目 | 動作条件 | ... |  | OS *2 *3 | <ul style="list-style-type: none"><li>• <del>Windows Server 2012 R2 Standard</del> *5</li><li>• <del>Windows Server 2012 R2 Datacenter</del> *5</li><li>• Windows Server 2012 Standard *5</li><li>• Windows Server 2012 Datacenter *5</li><li>• ...</li></ul> | ... |  |
| 項目       | 動作条件   |    |      |     |  |          |   |     |  |
| ...      |  |    |      |     |  |          |   |     |  |
| OS *2 *3 | <ul style="list-style-type: none"><li>• <del>Windows Server 2012 R2 Standard</del> *5</li><li>• <del>Windows Server 2012 R2 Datacenter</del> *5</li><li>• Windows Server 2012 Standard *5</li><li>• Windows Server 2012 Datacenter *5</li><li>• ...</li></ul>  |    |      |     |  |          |   |     |  |
| ...      |  |    |      |     |  |          |   |     |  |

- ・ 「4 Web コンソールの使用方法」 「4.1 Web コンソールのログイン・終了」 「4.1.1 ログイン」 (P.17)

| 誤                             |  |
|-------------------------------|--|
| <div>...</div> <div>補 足</div> | <ul style="list-style-type: none"><li>■ マネジメントインタフェースの IP アドレスをブラウザの信頼済みサイトに登録してください。</li><li>• ...</li></ul>                              |
| 正                             |  |
| <div>...</div> <div>補 足</div> | <ul style="list-style-type: none"><li>■ マネジメントインタフェースの IP アドレス <del>および「about:blank」</del> をブラウザの信頼済みサイトに登録してください。</li><li>• ...</li></ul> |

- ・「4 Web コンソールの使用方法」「4.2 Web コンソールによる初期設定」「4.2.1 ユーザアカウントの設定」  
「(2)「ユーザアカウント設定」画面」(P.25)

#### 補足に次の内容を追加



- SSH v2 に対応した公開鍵を登録可能です。  
SSH v1 用の公開鍵を登録すると、ユーザアカウントの設定状態が異常な状態となり、更新できなくなる場合がありますので、登録しないでください。  
万一、誤って SSH v1 用の公開鍵を登録し、ユーザアカウントの更新ができなくなってしまった場合には、BIOS Setup Menu で「Reset BMC Web Connection」を実行して回復してください。この場合、初期化される設定がありますので、再設定してください。
- パスワードとして使用できる文字は先頭を含めて、「ASCII コード中の表示可能文字 (0x21-0x7e)」です。

- ・「4 Web コンソールの使用方法」「4.4 Web コンソールの設定項目」「4.4.2 「Resources」タブー「Server」」  
「(1)「サーバ情報」画面ー「状態」タブ」「◆サーバ設定のリストア」(P.49)

#### 制限に次の内容を追加



- 「Administration」タブー「JP1/SC/BSM 連携」画面ー「SVP アラート通報先設定」タブで設定した情報のバックアップ／リストアに関して、次の制限がありますのでご注意ください。  
「SVP アラート通報先設定」に何も設定されていない状態でバックアップしたファイルを、「SVP アラート通報先設定」の設定を変更したあとでリストアした場合、「SVP アラート通報先設定」はバックアップ前の状態（何も設定されていない状態）には戻らず、リストア前の設定状態になります。  
なお、「SVP アラート通報先設定」が1箇所でも設定された状態でバックアップしたファイルを、「SVP アラート通報先設定」の設定を変更したあとでリストアした場合には、「SVP アラート通報先設定」はバックアップ時の設定状態に戻ります。

- ・「4 Web コンソールの使用方法」「4.4 Web コンソールの設定項目」「4.4.3 「Resources」タブー「Systems」」  
「(1)「ネットワーク管理」画面ー「DNS サーバ」タブ」(P.60)

#### 次の内容を追加



- 「Resources」タブー「Systems」ー「ネットワーク管理」画面ー「DNS サーバ」タブで DNS サーバの IP アドレスが設定できます。  
ただし、「Resources」タブー「Systems」ー「ネットワーク管理」画面ー「IP アドレス」タブの「DHCP 使用」が「有効」に設定されており、かつ、DHCP サーバ側のスコープオプションに DNS の IP アドレスが設定されている場合には、DHCP サーバから取得した DNS の IP アドレスが DNS サーバの IP アドレスに設定されます。

- ・「4 Web コンソールの使用方法」「4.4 Web コンソールの設定項目」「4.4.3 「Resources」タブ-「Systems」」「(3)「IPMI」画面-「IPMI ユーザアカウント」タブ」(P.62)

|   |   |
|---|---|
| 誤 | <p>...</p> <p>*2 「ユーザ名」は半角英数字で最大 <u>32</u> 文字までです。</p> <p>...</p> |
| 正 | <p>...</p> <p>*2 「ユーザ名」は半角英数字で最大 <b>16</b> 文字までです。</p> <p>...</p> |

- ・「4 Web コンソールの使用方法」「4.4 Web コンソールの設定項目」「4.4.5 「Administration」タブ」「(13)「証明書」画面」「CSR の作成とダウンロード」(P.103)

|   |   |
|---|---|
| 誤 | <p>...</p> <p>*4 非構造体名称 : 最大 60 文字の英数字、記号を入力できます (省略可能です)。</p> <p>*5 証明書取消パスワード : 最大 30 文字の英数字、記号を入力できます (省略可能です)。</p> <p>...</p>   |
| 正 | <p>...</p> <p>*4 非構造体名称 : 最大 60 文字の英数字、記号を入力できます (省略可能です)。<br/> <u>使用できる記号は次のとおりです。</u><br/> <u>空白記号、' (アポストロフィ)、- (ハイフン)、, (カンマ)、= (イコール)、</u><br/> <u>/ (スラッシュ)、() (括弧)、. (ピリオド)、: (コロン)、+ (プラス)、</u><br/> <u>? (クエスション)</u></p> <p>*5 証明書取消パスワード : 最大 30 文字の英数字、記号を入力できます (省略可能です)。<br/> <u>使用できる記号は次のとおりです。</u><br/> <u>空白記号、' (アポストロフィ)、- (ハイフン)、, (カンマ)、= (イコール)、</u><br/> <u>/ (スラッシュ)、() (括弧)、. (ピリオド)、: (コロン)、+ (プラス)、</u><br/> <u>? (クエスション)</u></p> <p>...</p> |

- ・「付録」「付録 C LDAP サーバ連携機能」「付録 C.3 Active Directory 環境設定」「BMC ログイン用ユーザアカウントの登録」「パスワード」(P.217)

|   |  |
|---|--|
| 誤 |  |
|   | <p>...</p> <p>使用可能文字（先頭）：ASCII コード中の表示可能文字（0x20-0x7e）</p> <p>...</p> |
| 正 |  |
|   | <p>...</p> <p>使用可能文字（先頭）：ASCII コード中の表示可能文字（0x21-0x7e）</p> <p>...</p> |

# 「ロングライフモデルⅡ」のサポートについて

「ロングライフモデルⅡ」を2014年12月末より販売開始しました。次の説明をご一読いただき、運用くださいますようお願い申し上げます。

## ロングライフモデルⅡについて

### □ ロングライフモデルⅡの概要

システム装置のファン制御を変更し、動作環境を適切に維持することで、長期間の安定稼動を保証するモデルです。これにより、保守サービス期間を6年または7年まで延長することが可能です。

なお、「ロングライフモデルⅡ」の保守サービス期間は、ほかのシステム装置と異なります。システム装置に添付される「保証書」の内容をご確認ください。

### □ 対象モデル

ロングライフモデルⅡは、システム装置に貼られているラベルの形名（TYPE）記載や、ご購入時にご指定いただいたセット形名で見分けることができます。

- GQx212HM-xxxxxxx （x は任意の英数字）
- GQx212LM-xxxxxxx （x は任意の英数字）

#### ■ 【後から7桁目】：保証区分

8：ロングライフモデルⅡ（7年）

### □ 設置環境

ロングライフモデルⅡの設置環境は、ロングライフサポートモデルと同じです。次に記載されている「ロングライフサポートモデル」の記述を「ロングライフモデルⅡ」に置き換えてお読みください。

『ユーザーズガイド ～導入編～』「1 システム装置を導入する前に」「1.2 設置環境」

### □ 有寿命部品

ロングライフモデルⅡの有寿命部品は、ロングライフサポートモデルと同じです。次に記載されている「ロングライフサポートモデル」の記述を「ロングライフモデルⅡ」に置き換えてお読みください。

『ユーザーズガイド ～運用編～』「付録」「付録 A お手入れと交換品」「付録 A.3 有寿命部品」

### □ 電源ユニットの搭載数

ロングライフサポートモデルと同様に、標準で電源ユニットが2台搭載されています。